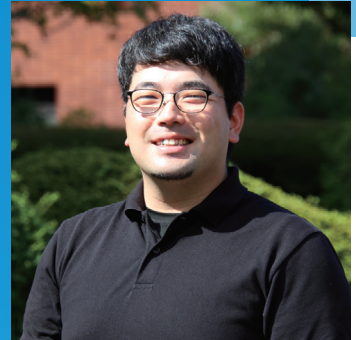


宮崎大学マガジン

【特集】

宮崎県で輝いている卒業生



研究部門紹介 「ヘルスケア研究部門」

宮崎大学の連携協定

鹿児島大学 × 宮崎大学

(株)サカイ引越センター × 宮崎大学

「がんばる! 宮大学生」

医学部看護学科 中川 もえさん

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

宮崎大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に資する取り組みを推進しています。



【特集】

宮崎県で輝いている卒業生

宮崎大学を巣立ち、ふるさと宮崎の地でそれぞれの分野に情熱を注ぐ卒業生たち。確かな知識と経験で社会を支える姿は、本学の理念である「地域に根ざし、世界に羽ばたく人材」の体現といえます。今回は、宮崎で活躍する5人の卒業生に、仕事への思いや目標を伺いました。

Interview.01

教育学部
卒業

大学・大学院時代の学びを糧に 個性を伸ばし未来を育む教諭



Profile

宮崎市立青島小学校
教諭
谷口 夢歩さん

教育学部教職実践基礎コース
2020年3月卒業
教育学研究科(教職大学院)
2022年修了



秋休みはリフレッシュに
妹と香港ディズニーラン
ドへ行き楽しみました。

教諭を目指したきっかけは？
高校1年の時のインターンシップで、小学校で授業に入った時、児童から「先生の教え方は分かりやすい」と声をかけてもらいました。その時に子どもと接する楽しさや教える喜びを実感したことがきっかけとなりました。

大学時代に力を入れたことは？
大学時代は「宮大チャレンジ・プログラム」で五ヶ瀬小の児童と町の魅力を発信する企画に参加し、学園祭ではPRや特産品販売を行いました。この取り組みは準グランプリを受賞しました。また「PFCサークル」では、児童館などに出向き、ゲームやレクリエーションを通して子どもたちと交流しました。

大学4年間だけでは現場に出る不安があったため、さらに学びを深めようと大学院へ進学しました。大学院では理論と実習を

繰り返し、実習で課題を見つけ、それを学び直して次の実習に臨むというサイクルを重ねました。

教師として心掛けていることは？
学生時代に県内外や海外の教育現場を見学し、多様な指導のあり方を学びました。この学びが現在にとっても活かれています。中でも、教室の空きスペースにマットやテーブルを置いた「リラクゼーション」を作っています。これはオーストラリアを参考にしています。「こうでなければならぬ」という固定観念を捨て、個性に合わせた学びのスタイルを大切にしています。そのほか、子ども同士の関係づくりに力を入れていきます。良い関係性が育つと、クラス全体がとても良い雰囲気になります。子どもたちが伸び伸びと楽しく成長していけるよう、環境づくりと関係づくりに力を注いでいきたいです。

医学部 卒業

患者さんのために 臨床と研究、両輪で挑む

医師を目指されたきっかけは？
祖父と父が宮崎で開業医をしていました。その意志を継ぎたいという思いから医学部に進学しました。患者さんのことを常に考え、時間外や土日でも診療にあたる父の姿を見て育ちました。父に喜んで欲しいという思いもあり、父と同じ循環器の道を選びました。

大学時代に力を入れたことは？
病理学講座で6年間研究を続け、1本の論文を発表しました。6年間を通じて1つのテーマに取り組み続けたことが、最も力を注いだことです。研究テーマは「ヒトの冠動脈プラークの成分について」で、MRI検査で高信号を示すプラークは不安定で出血しやすいことが分かりました。結論に至るまでには、さまざまな手法を用いて証明する必要があり、相応の時間と労力を要しました。未知の



大学6年かけて研究した「ヒトの冠動脈プラークの成分について」は、学内発表会で学長賞を受賞。



Profile

宮崎大学医学部附属病院
循環器内科
内田 暁子さん

医学部医学科
2019年卒業

ことを明らかにすることの大変さを実感しました。

現在は医師であり、大学院で研究もされています
循環器疾患の診療を通して実感した課題について、病理学的な解析を基に臨床に還元できる研究をも一度行いたく、医師6年目に大学院に進学しました。研究と並行して外来診療も行うっており、主に心エコー図検査を担当しています。臨床画像から得られる情報と病理組織像との対比を通じて、1つの病気を多角的に捉えられることが、自分の強みになっています。現代医療でまだ分かっていないことを明らかにしていくことにやりがいを感じていますし、それが、将来的に患者さんの役に立つと思うと、大切な使命だと考えています。

工学部 卒業

ITで支える快適なビジネス環境 学びを深め信頼されるパートナーへ



Profile

株式会社サザンクロスシステムズ
ビジネスイノベーション本部
クラウド事業部
阿瀬知 汐里さん

工学部情報システム工学科
2014年3月卒業



植物が好きでいくつもの種類の植物を育てて楽しんでいます。

現在のお仕事は？
弊社はITコンサルティングやソフト開発を中心にITでより良いビジネス環境を提案しています。私は入社13年目になります。昨年までは開発事業部で多様なシステムのプログラミングを担当していました。お客様が求めるシステムをヒアリングし、プログラムを組み立てます。作ったシステムが実際に動いて人々の役に立つたとき、大きな達成感を味わえます。現在はクラウド事業部で提携企業のサポートをしています。操作案内や設定変更、メンテナンス対応など、お客様の要望に寄り添って業務を行っています。

大学時代に力を入れたことは？

大学では3DCG制作を学ぶゼミに所属しました。自分でプログラムを組み立て的なCGを制作しました。私はハイアン風の指輪を自由にカスタマイズできる

これからの目標は？

プログラム完成までには多くの設定を重ねた先にゴールがあります。ゴールへの道筋は一つではなく、いくつもの選択肢があります。どの道を選択し、どう組み立てるかによって、ソフトの質も大きく変わってきます。より効率的に作れるよう知識を広げたいです。また、お客様との対話においては、何を求めているか、思いをくみ取り、期待に応えられるよう自分の引き出しを増やせられるよう努力を続けたいと思います。

Interview.04

農学部
卒業大学時代の学びと経験を糧に
生産者に寄り添い、宮崎の畜産の発展に挑む

県庁でどのようなお仕事を担当されていますか？
宮崎県庁の畜産技術職として入庁し、今年で5年目になります。初任地は中部農業改良普及センターで、主に新規就農者の支援業務に携わりました。現在は、本庁の畜産振興課に所属し、主に家畜の飼料に関する支援業務を行っています。畜産生産者の経営負担の軽減対策を通じて、宮崎県の畜産業を支えるため日々業務を行っています。

大学生活を振り返り、良かったと思えることは？
大学では、畜産に関わること（牛・豚・鶏など家畜のことから家畜の飼料のこと、飼料をつくる土壌のことなど）について座学や実習を通じて多くの学びを得ることができました。特に印象に残っているのは、牧場実習で24時間牛を観察する授業です。班で交代

これからの目標は？
宮崎県は農業産出額が全国でも上位にあり、畜産はその中でも非常に重要な産業です。今担当している補助金などの支援業務を通じて、生産者の経営安定の一助になればと思っています。今後はさらに知識や経験を積み、宮崎県の畜産業の発展に貢献できる、そして生産者に信頼される存在になりたいと考えています。

しながら、1日を通して牛の生活リズムを把握し、発情や健康状態の兆候を読み取る力を学びました。学外では、酪農家のもとでアルバイトも経験し、早朝と夕方の搾乳作業と牛舎の掃除を行っていました。人からの紹介という縁があつて始めたアルバイトでしたが、こうした経験つひとつが、今の仕事に大いに役立っています。



Profile

宮崎県庁
農政水産部 畜産振興課
池田 美玖さん

農学部畜産草地科学科
2021年卒業



オフの日はツーリングを楽しむ池田さんの愛車

Interview.05

地域資源創成学部
卒業大学時代の挑戦と経験を生かし
地域の未来を支える大学職員へ

Profile

宮崎大学
事務職員
中武 知也さん

地域資源創成学部
地域資源創成学科
2020年3月卒業



オフの日にはカヌー教室のサポートやジムで体を鍛えるなど充実した日々を過ごしています

大学職員としてどのような仕事をされていますか？
大学職員6年目になります。これまででは医学部附属病院で医療機器の入れや契約、入試課で大学入試業務を担当してきました。今年4月から農学部の教務・学生支援係配属になりました。学部入試に関する業務を主に行っています。教職員に情報共有し、受験が滞りなく進むよう細心の注意を払っています。どの業務においても周囲が円滑に動くことや、課題に直面した時はよりよい解決方法を考え、何事もポジティブに取り組むことを心掛けています。

大学時代に力を入れたことは？
2年生の時に、「宮大チャレンジ・プログラム」に参加し、県内の食材を活かした新しい宮大産のお土産開発に挑戦しました。これは、社会で活躍する企画力や実行力を高めることを目的としていて、同級生5人で取り組み、私は代表として調整やとりまとめを担当し、一口サイズのどら焼きを形にできました。また、大学からはカヌー体験教室の運営にも携わっています。こうした人と関わり調整する力を養えたことが、今の仕事に活きていると感じます。

これからの目標は？
私は西米良村の出身です。大学職員を目指したのは、地域活性に関わりたい想いがあつたからです。具体的にどのようなことができるかは模索中ですが、大学時代のゼミで、地域のお祭りや抱える課題に触れてきました。今後も、地域や学生の声に耳を傾け、大学にいるからこそできることを探していきたいと思っています。



さまざまな臨床研究を通し 地域とともに未来の健康を創る取り組み

健康や医療に関する多様な課題に応えるため、研究・産学地域連携推進機構に設立された「ヘルスケア研究部門」。人を対象とした臨床研究を通じて、信頼できる科学的根拠（エビデンス）を創出し、その成果を地域産業の活性化や住民の健康・福祉の向上につなげています。産学官が連携して取り組む研究の実際や、今後の展望について伺いました。



ヘルスケア研究部門とは

有村：私たちは、健康の維持や増進をはじめとするヘルスケアや医療・福祉に関する幅広いテーマについて、人を対象とした臨床研究を通して、信頼できる科学的な根拠を創出しています。ここで得られた成果（エビデンス）を医療・健康関連ビジネスなど地域産業の発展や、地域の保健・福祉の向上に役立ててもらっています。

設立の背景や目的について

有村：2015年に機能性表示食品制度が始まり、特定の保健の目的が期待できる食品の機能性の表示が可能になりました。ただしその表示には、事業者が科学的根拠に基づいた情報を消費者庁へ届け出る必要があります。宮崎県は農作物の生産が盛んで、機能性成分の分析や基礎的な研究は行われていたが、人への健康影響を検証するための臨床研究を実施する体制は十分に整っていませんでした。

そのような背景を受け、2017

年1月に宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター内に「食品臨床試験部門」が設置されました。さらに、機能性食品にとどまらず、より幅広いヘルスケア分野を対象に、科学的根拠の創出を通じて地域産業の活性化や地域保健・福祉の向上に貢献することを目的に、産学官が連携して研究を推進・支援する新たな体制へと発展し、2023年度には研究・産学地域連携推進機構内に「ヘルスケア研究部門」として再編されました。現在は、さまざまな研究活動を通じて、専門的人材の確保・育成や体制のさらなる整備を進めています。

どのような研究をされている？

有村：当部門では、各事業者や自治体から依頼を受け、食品をはじめとしたヘルスケア関連製品に関する臨床研究を実施し、エビデンス作りをしています。その製品がどのような目的で開発されたのかなどをヒアリングし、目的に沿ったデータを、臨床研究を通じて収集します。臨床試験の専門スタッフが実施するため、信頼性の高いデータを提供できるのが大きな特徴です。これまでの代表的な研究では

- ・ 完熟きんかん「たまたま」を用いた抗疲労効果の研究
- ・ 低糖質ケーキ摂取後の血糖変動に関する研究
- ・ 和柑橘精油の香りによるリラックス効果試験

などがあり、これまでに計34件の研究と1事業を実施しています。

これからの目標は？

有村：健康は、生まれてから人生の最期まで関わる重要なテーマです。さまざまな研究を通して、人々のウェルビーイング（心身ともに健康で満ち足りた状態）やアンチエイジングに貢献していきたいと考えています。特に、地域産業と連携したエビデンスの創出に、今後さらに力を入れていきたいと思っています。

- ① 肌状態の測定
血液中の糖化度と肌状態との関連を検討する研究での肌検査の様子
- ② 肌状態の測定
ある処理水を入浴時に使用する研究での肌検査の様子
- ③ 健康セミナーの開催
前身の食品臨床試験部門時代に開催した健康セミナーでの講演風景（演者：有村）
- ④ AGES測定
都農町での健康調査において、糖化度測定の様子（測定者：有村）
- ⑤ 健康調査での同意説明会
都農町での健康調査において、研究同意説明会の様子（説明者：有村）



有村 保次 副部門長・特別教授

医師、社会健康医学修士
(総合内科専門医、呼吸器専門医、抗加齢医学専門医、臨床疫学認定専門家)

医師として予防医療に注力しています。未来の健康のために、大きな負担を要して特別な何かを行うのではなく、“今よりちょっとだけ”の積み重ねが大切です。皆さんにとって、今すぐ始められる“今よりちょっとだけ”は何でしょうか？そうした歩みに寄り添うことにも尽力できたらと考えています。



@miyadai_fcrc2019



LINE ヘルスケア研究部門

共創でひらく未来

宮崎大学の連携協定



南九州地域の課題解決や教育研究の更なる発展を推進



宮崎大学と鹿児島大学は、「両大学の強みや特色を活かして、教育・研究・地域貢献等の分野において広く連携し、教育・研究の質の向上を図り、社会の発展及び人材育成に寄与すること」を目的として、令和7年8月に包括的連携協定を締結しました。

締結式では、鹿児島大学の井戸章雄学長から「今回の協定締結は、両大学がこれまで培ってきた信頼と実績を基盤に、より組織的かつ継続的な連携を築く大きな一歩となり、教育・研究・地域貢献・産学官連携の各分野において、教職員・学生の交流や、共同研究、地域課題の解決に向けた取り組みが一層活性化される」と挨拶があり、宮崎大学の鮫島浩学長からは、「宮崎大学と鹿児島大学はこれまで様々な分野で連携してきた。今回の協定締結を機に連携をさらに強化し、また、地域の教育を守る、研究を守るという意味で連携を発展させ、全ては若者のため、地域産業のために、2大学間で頑張っていきたい。」と挨拶がありました。

宮崎大学は、本連携協定を通じて、南九州地域の課題解決や教育研究の更なる発展に取り組んでいきます。



宮崎大学オリジナルキャラクター
みやだいもっくん



SDGs達成に資する取り組みを推進し、地方創生を実現



宮崎大学と株式会社サカイ引越センターは、「それぞれの資源を有効に活用した協同による活動を通じてSDGs達成に資する取り組みを推進し、地方創生を実現すること」を目的として、令和6年3月に連携協定を締結しました。

協定の項目として、「①サステナブル社会の実現に資する共同研究・受託研究」、「②運輸サービスを通じた人材育成、データサイエンス分野の社会人教育」、「③地域活性化に関する取組み」の3つを掲げ、地域資源創成学部や工学部と、『引越データを用いた研究』や『トラックに太陽光パネルを設置し実証実験』を行うなど、取り組みを展開しています。

宮崎大学は、本連携協定を通じて、宮崎県における地方創生の実現に向けて、積極的に教育研究活動に取り組んでいきます。



太陽光パネルを設置したトラック



まごころパンダ



皆様に愛されて60年 宮崎を代表する銘菓

宮崎銘菓 青島せんべい

第19回全国菓子博覧会名誉総裁高松宮賞受賞



宮大生協
限定

青島せんべい
宮大オリジナルパッケージ好評発売中!!



12枚(2枚入×6袋) 702円

宮崎空港・宮崎駅・県物産館・道の駅・SA/PA
青島屋・山形屋・イオン各店等にて好評販売中!

全国発送 承ります

製造・販売元
お菓子の日進堂 宮崎県宮崎市城ヶ崎2丁目10-5
TEL.0985-51-3085

清花祭、WakuWaku体験Day 同時開催

2025年
11/15^土16^日

場所

木花キャンパス
清武キャンパス

宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎市清武町木原5200番地

令和7年度

みやだい

WakuWaku
体験Day

木花・清武の両キャンパスで
大人も子どもも
楽しめる企画がたくさん!

詳しくは
こちら



第21回

清花祭

きよかさ



※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催形態や内容等が変更になる場合があります。

地域教員希望枠フォーラム

～未来の教員養成をリードする地域教員希望枠～

文部科学省「地域教員希望枠を活用した教員養成
大学・学部機能強化事業」に採択された4大学が、
それぞれの地域に根ざした実践と課題、今後の展望
を共有し未来の教員養成のあり方を広く教育関係
者の皆さまとともに考えます。

日時 2026年2月13日(金) 13:00-16:30 (受付12:30～)

会場 宮崎大学錦本町ひなたキャンパス 宮崎市錦本町4-5

●基調講演：文部科学省 教員養成企画室

●シンポジウム

テーマ「地域教員希望枠を活用した
教員養成の取組と課題」

・各大学の取組発表(4大学)

・コメンテーターを交えての指定討論、自由討論

●終了後 情報交換会(会費制、定員30名)

お申し込みは
こちら



申込み切 1/20 (火)

お問合せ 宮崎大学教育学部総務係 ☎0985-58-2889 E-Mail: edusoumu@of.miyazaki-u.ac.jp

主催：宮崎大学 共催：山梨大学、愛媛大学、鹿児島大学 後援：宮崎県教育委員会

公開講座

	講座名	日程	回数	対象(定員)	会場	申込受付	受講料	HP
一般向け	牧水をよむ ～第9歌集『朝の歌』～	11/29(土)・2/21(土) 14:00～17:00	2	一般・高校生以上(20名)	錦本町ひなたキャンパス	受付中	有料 1,000円	
	「つくる」って、学べるんだ。 ～参加型の場を、自分でデザインする連続 講座～	1/10(土)・1/31(土)・ 2/21(土) 13:00～16:00 (2月21日のみ13:00～17:00)	3	一般・高校生以上(20名)	錦本町ひなたキャンパス	受付中	有料 3,000円 (学生 1,500円)	
	アーティスト視点の持ち方 ～心の中にアーティストの自分を持つ～	2/28(土) 15:00～17:00	1	一般・小学生以上(20名)	宮崎大学木花キャンパス	12月1日 受付開始	無料	
小学生、 親子向け 講座	牧場体験してみよう	3/27(金) 9:00～12:00	1	小学校低学年(4年生以下) (12名)	宮崎大学農学部 住吉フィールド	12月1日 受付開始	有料 1,000円	
	親子で学ぶ人工知能 ～AIってなに?～	3/28(土)・29(日) ①9:30～12:00 ②13:30～16:00	1	園児、小学生中学生と同伴 の保護者あるいは高校生 (各回20名)	宮崎大学工学部 D棟2階(204) プレゼンテーションルーム	12月1日 受付開始	有料 2,000円	

宮崎大学クラウドファンディング

農学部附属動物病院がクラウドファンディングに挑戦



大好きな愛犬と健やかに歩ける日々を。
手術器械導入へのご支援を



期間 9/15～11/13
寄附金控除型



応援よろしく
おねがいします!



宮崎大学では、クラウドファンディングを活用したプロジェクトを実施しております。
本学の多様な活動へ是非皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

問合せ先

宮崎大学総務広報課
Email: crowdfun@of.miyazaki-u.ac.jp



宮崎大学クラウドファンディング 検索

宮崎大学 × READYFOR

あなたの支援が、
未来を育てます。

スマホからでも
寄付ができます



宮崎大学基金

検索

www.miyazaki-u.ac.jp/kikin

問い合わせ先

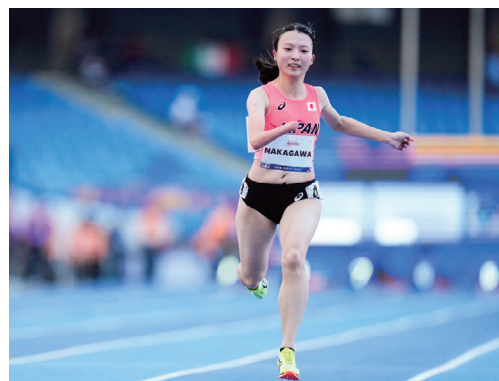
宮崎大学企画総務部総務広報課
TEL.0985-58-7790

がんばる!
宮大学生

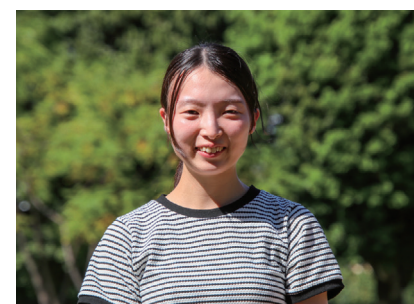
「学びと走り」2つの夢を追って 看護学生ランナーの挑戦

中川 もえさん 医学部看護学科
(宮崎県立宮崎大宮高等学校卒業)

8月にインドで開催された「ニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権」の女子上肢障がい100mに日本代表として出場した医学部看護学科4年生の中川もえさん。ジャパンパラ陸上競技大会100mで3年連続1位、アジアユースパラ競技大会では100mと200mの両種目で優勝するなど数々の実績を重ねています。世界パラ陸上から帰国後は、「日本記録を出したかった」と悔しさをにじませつつも「世界のレベルの高さを知ることができ、終わってみて、楽しかったな」と思える大会でした」と笑顔を見せました。



2025年8月、世界パラ陸上競技選手権の女子上肢障がい100mを走る中川もえさん。



大学4年間頑張れたのは「周りの方の支えのおかげ」と口にする中川もえさん。

けず嫌いな性格で、学業と陸上の両立を続けています。大学では講義・実習・陸上のすべてに全力で取り組んできました。朝から夕方まで講義を受けた後は練習場へ直行し、帰宅後は課題に取り組む日々。大会期間中でも試験が近い時は競技場に参考書を持ち込み、合間に暗記に励むなど、効率的な学びを積み重ねてきました。

これまでを振り返り、「小学生の頃の自分が今の自分を見たら、きつとびつくりすると思います」と中川さん。「家族をはじめ、先生方や友人など、応援してくれる人たちに支えられたおかげです」と感謝を口にします。

3月に大学を卒業後は、大学院に進学し「褥瘡^{しよくさ}について研究し、車いすの選手などの褥瘡ケアを通じてサポートできるようにしたい」と新たな目標を掲げています。これからも学業と陸上を両立させながら、日本記録、そして世界記録への挑戦を続けます。

宮崎大学人気キャラクター みやだいもうくん

宮崎大学のオリジナルキャラクター「みやだいもうくん」はマイペースでのんびり屋さん。いつでもプラス思考で、ほんわかオーラでいつの間にかみんなを和ませてしまいます。誕生日は10月1日で、チャームポイントは、太陽の日差しを浴びてほんのりオレンジ色に染まった体と、しっぽのヤシの木、そしてお顔に隠された「MoU」の文字です！そんな「みやだいもうくん」は2025年『ゆるバース』（旧ゆるキャラGP）に初挑戦し、全国28位の大健闘！（みんなの応援のおかげだもう）「みやだいもうくん」の『ゆるバース2025』の挑戦の軌跡は、Instagram（みやだいサブあか【宮崎大学半分公式】）からチェックしてね！

宮崎大学
オリジナルキャラクター



みやだいもうくん



@miyadai_moumou



宮崎大学公式フェイスブック

みなさんからのたくさんの「いいね！」をお待ちしております。



宮崎大学公式 Instagram

@miyazakidaigaku
宮崎大学に関する情報を発信します。



Myaoh.TV

公式Youtubeチャンネルで
宮大がわかる動画が900本以上！

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2025 vol.46 [発行日]令和7年10月

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行]国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでものご感想など自由にメールでお寄せ下さい。✉ kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などに配布しています。
バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。



宮崎大学HP

